

勝又公仁彦展「Polyphonic forest」

作家名：勝又 公仁彦

会場：gallery 176（ギャラリー イナロク）

大阪府豊中市服部元町1-6-1／阪急宝塚線 服部天神駅(梅田から11分)下車 徒歩1分

会期：2018年10月26日(金)～11月13日(火)

休廊日：10月31日(水)、11月1日(木)、7日(水)、8日(木)

開廊時間：13:00～19:00

企画：gallery 176



© Kunihiko Katsumata

作品説明：

これまで勝又が制作してきた40以上の作品シリーズから、未発表の作品を含めた作品集『Compilation of photo series of Kunihiko Katsumata until 201X』（Media Passage）の上巻の発行に合わせ、収録される15シリーズほどの作品を一堂に見ることができるインスタレーションとして発表する。

異なるシリーズがどのように展開し関連性を持っているかを示し、一見相異なる作品シリーズ同士の関係性を示すことで異質に見えるものたちが共存し共鳴する空間を現出させる試み。

展示構成：

インスタレーション、ミクストメディア



© Kunihiko Katsumata

関連イベント

オープニング記念ライブ「Polyphonic Exhibition」

展覧会オープンを記念して福岡在住のサウンドアーティスト duenn 氏によるライブパフォーマンスを行います。勝又の映像作品にも楽曲を提供している duenn 氏により、勝又作品の多様性と呼応したポリフォニカルな空間が現出します。

開催日時：2018年10月27日(土) 18:00～19:00

出演者：duenn (BLACK HAT MANの出演もあるかも)

料金：2,000円、要予約

定員：25名

duenn

福岡在住。エレクトロニクス / コンポーザー。最小限の機材で、ミニマル的な作品を制作。国内外の複数のレーベルより数々の作品をリリース。画家黒田征太郎、写真家小松浩子等、美術分野のアーティストともコラボレーションを繰り返しながら、アンビエントミュージックのさらなる拡張を目指している。2017年よりNyantora aka Koji Nakamuraとアンビエントイベント「Haradcore Ambience」共催。好きな言葉は一期一会。

BLACK HAT MAN

ユーラシアの平原に降り立ったシャーマニックマジカルザイン。日本では2018年より気まぐれに降臨開始。神出鬼没。帽子が目印。多種多様な多国籍楽器で祈りを捧げます。

トークイベント

開催日時：2018年11月4日(日) 開催時間調整中

出演者：勝又公仁彦、他調整中

料金：調整中

定員：調整中

勝又 公仁彦（かつまた くにひこ）

略歴

写真家・美術家

静岡県生まれ。早稲田大学法学部卒業。時間・光・場所などをサブテーマに、常に写真の構造に触れるコンセプチュアルな作品展開を続けている。主な受賞に日本写真協会新人賞など。東京国立近代美術館、世田谷美術館、沖縄県立博物館・美術館などに作品収蔵。主な展覧会に

「写真の現在 2 サイト 場所と光景」（東京国立近代美術館、2002）、「Dwelling」（世田谷美術館主催、2008）、「都市の無意識」（東京国立近代美術館、2013）、「あいちトリエンナーレ 2016」（岡崎康生会場、2016）、「写真都市展 ウィリアム・クラインと 22 世紀を生きる写真家たち」(21_21 DESIGNSIGHT、2018)など。

京都造形芸術大学准教授・多摩美術大学非常勤講師。

現在世田谷美術館で開催中の『東京スケイプ Into the City』に出品中（10/21 まで）

web サイト

<http://www.kunihikokatsumata.com>

お問い合わせ先

勝又公仁彦展「Polyphonic forest」に関するご質問、メディア掲載用画像の提供等のお問い合わせは、下記までお願い致します。

gallery 176（ギャラリー イナロク）

担当：友長勇介

tel：050-7119-9176

e-mail：info@176.photos